

ラクロー

ラクローセキュリティホワイトペーパー

1.2版

株式会社ラクロー

1 ユーザーとの責任分界点

株式会社ラクローの責任

株式会社ラクローは、以下のセキュリティ対策を実施します。

- ラクローサービスのセキュリティ対策
- ラクローサービスに保管されたお客様データの保護
- ラクローサービスの提供に利用するアプリケーション、ミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- ラクローアカウントの適切な管理（登録、削除、管理権限の付与など）
- ラクローに登録した情報の適切な管理

2 データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、AWS東京リージョンに保管されます。

3 データの削除

- ラクローサービスの解約手続きを完了した場合、解約月の翌月10営業日以内に、お客様からお預かりしたデータの削除作業を開始し、開始から50日以内に削除を完了します。
- 詳細は[ラクロー利用規約](#)の第10条（登録ユーザーの退会）をご確認ください。

4 ユーザー登録および削除

- お客様は、契約の範囲内において、いつでも自由にユーザーの登録を行うことができます。
- ユーザーが退職した場合には、退職処理を行うことができます。
- ユーザーを削除する場合には、権限によって削除に制限がかかる場合があります。

【操作手順書】

- [従業員の作成、招待](#)
- [従業員データをCSVファイルで一括登録・更新する](#)
- [ユーザーの編集・削除](#)

5 アクセス権の管理

- お客様は、登録したユーザーの権限を、自由に切り替えることができます。管理者権限を付与することで、管理画面にアクセスすることができます。

【操作手順書】

[ユーザーの管理者権限を変更する](#)

6 パスワードの配布方法

新規ユーザーのメールアドレスに、初期パスワードを登録するための、一意の URL を含む招待メールが送信されます。

新規ユーザーは、その URL にアクセスし、パスワードを入力・設定することで、サービスの利用を開始できます。招待メールの送信タイミングは、新規ユーザーを追加したと同時に送信する方法と、任意のタイミングで送信する方法のいずれかを選択することができます。

【操作手順書】

- [各従業員のログインから初期設定 > 招待メールからログイン](#)
- [「ユーザー登録時に招待メールを送信する」チェックについて](#)
(ラクロー招待メールの送信タイミングについて記載しています)

- ユーザーはパスワードを忘れた場合、自らパスワードの再設定を行うことが可能です。

【操作手順書】

- [パスワードを再設定する](#)

7 暗号化の状況

- DBはAWS KMSによって暗号化しています。
- アップロードファイルは暗号化(SSE-S3)して保存されます。パスワードやアクセストークンなど特に機微な情報はアプリケーションレベルで、不可逆暗号化(ハッシュ化)して保存しています。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL通信(SHA256)によって暗号化されます。

8 変更管理

- サービスのバージョンアップ情報を始めとした、各種の変更に関する情報は、下記のリンク先Webページより閲覧することができます。
 - [ラクローリリースノート](#)
- サービスのバージョンアップが実施された場合、ラクローサポート担当から、サービス登録時に株式会社ラクローにご提供いただいたメールアドレスに対し、メールにてご連絡する場合があります。

9 手順書の提供

- お客様が利用できる手順書は、下記リンク先より閲覧することができます。
 - [ラクローヘルプマニュアル](#)

10 バックアップの状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、日次でバックアップを取得しています。バックアップは、20世代分保管されます。
- お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。

11 ログのクロックに関する情報

- ラクローサービス内で提供されるログは、タイムゾーンJST(UTC+9)で提供されます。
- ログの時間は、AWSが提供するNTPサービスと同期しています。

12 脆弱性管理に関する情報

- 年一回以上、不定期で外部診断会社による脆弱性診断を実施しています。
- ラクロー開発チームは、システムで利用しているOS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

13 開発におけるセキュリティ情報

- コードレビューの実施等により、基本的な脆弱性への対応ができているかどうかの確認を行なっています。
- サーバーにインストールされているライブラリについて、バージョンが古い・脆弱性が発見されたなどのチェックを行なっています。

14 インシデント発生時の対応

- 障害発生時は速やかに弊社担当者に通知され、対応を行います。
- お客様へは必要に応じてサービス内・Webサイトでの通知、またはお客様担当者へのメール送信によって行います。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「ラクローサポート担当」窓口より受け付けています。

15 お客様データの保護及び第三者提供について

- お客様データの保護については、[プライバシーポリシー](#)第7条(安全管理体制)をご確認ください
- 第三者提供については、[プライバシーポリシー](#)第4条(第三者提供)をご確認ください

16 適用法令

- お客様と株式会社ラクローとの間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

17 認証

- 株式会社ラクローは、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS適合性評価制度における、ISMS認証¹を取得しています。
- 株式会社ラクローは、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS適合性評価制

¹ <https://isms.jp/ist/ind/>

度における、ISMSクラウドセキュリティ認証²を取得しています。

【ISMSクラウドセキュリティ認証登録範囲】

クラウド型経営管理ツール「ラクロー」の提供に係るクラウドサービスプロバイダとしてのシステムの運営、及びAWSのクラウドサービスカスタマとしての利用に係るISMSクラウドセキュリティマネジメントシステム

- 株式会社ラクローは、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS適合性評価制度における、プライバシー情報マネジメントシステム(PIMS)認証³を取得しています。

【プライバシー情報マネジメントシステム(PIMS)認証登録範囲】

クラウド型経営管理ツールの運営及び関連するPIIの処理

18 外部クラウドサービスの利用

- ラクローでは、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社
AWS	インフラ構築,運用	Amazon
Mandrill	メール送信	Intuit
Sentry	エラー監視	Sentry
Stripe	請求処理	Stripe

19 下請負者の使用

- ラクローの提供にあたって、下請負者を使用しています。
下請負者の開示に関するお問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「ラクローサポート担当」窓口より受け付けています。

² <https://isms.jp/isms-clc/1st/ind/>

³ <https://isms.jp/isms-pims/1st/ind/>

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2022/06/20	初版発行
1.1	2022/10/21	17.認証にISO27017、27701の取得状況を追記
1.2	2023/10/11	7.暗号化の状況にDBの暗号化について追記

この資料に関するお問い合わせ

株式会社ラクロー
 ラクローサポート担当
 Email: support@raku-ro.com